二月 宝生会 月浪能

二月十三日（日）午後一時始
正午開場
於 宝生能楽堂

13:00

仕舞

頼政 田崎隆三
三山 武田孝史
是界 水上優

東川尚史
前田尚廣
高橋亘
藪克徳

13:30

鉢木

シテ 大坪喜美雄
ツレ 大友順
ワキ 森常好
ワキツレ 梅村昌功
〃 野村太一郎
間 野村裕基
大鼓 國川純
小鼓 幸信吾
笛 松田弘之

後見 前田尚廣 高橋亘 澤田宏司

地謡 佐野玄宜 亀井雄二 和久荘太郎 小倉健太郎 朝倉俊樹 亀井保雄 今井泰行 山内崇生

〈休憩十五分〉

15:20

鶯

野村萬斎
石田幸雄

15:50

海人

シテ 東川光夫
子方 出雲路啓
ワキ 舘田善博
ワキツレ 則久英志
〃 吉田祐一
間 深田博治
大鼓 亀井実
小鼓 幸正昭
太鼓 吉谷潔
笛 藤田朝太郎

後見 宝生和英 水上優

地謡 内藤飛能 東川尚史 高橋憲正 小倉伸二郎 辰巳満次郎 佐野由於 金森秀祥 野月聡

終演予定 十七時十五分頃

演目の解説

能「鉢木」（はちのき）

旅の僧が上野の佐野の辺りに差し掛かり、あまりの大雪に宿を求め、外出から帰った主人に一度は断られてしまいますが、妻の口添えもあり泊めてもらいます。暖をとるため秘蔵の鉢の木を薪にくべる主人に感銘した僧が名を尋ねると、佐野源左衛門常世と答え、一族に所領を横領されて貧困を強いられてはいるが、鎌倉に何かあれば直に駆けつけるという気概を語ります。僧、実は最明寺時頼が鎌倉に戻り関東に集合を掛けると、その言葉通りに馳せ参じた常世を呼び、自らの正体を明かして横領された所領と、「梅桜松」三本の鉢の木にちなんだ三箇所の荘園を与えます。

能「海人」（あま）

藤原淡海公の子、房前の大臣は自分の母の出自について詳しく知るために、讃州志度の浦へ赴きます。そこに現れた海人は臣下の問いに詳しく答え、唐土から贈られた三つの宝物のうち、「面向不背の珠」という宝を竜宮に取られてしまい、それを引き上げて亡くなった海人こそ房前の母であったと告げ、珠を取り返した様子を見せ、母の幽霊と名乗って海中に消えます。房前が追善供養を行うと、母が龍女の姿で現れ成仏を喜びます。

チケット料金（税込）

S席 8,800円
A席 7,700円
B席 6,600円
C席 5,500円
D（自由）席 3,300円

ご購入は、各能楽師
または
オンラインチケット
・宝生会事務局まで

文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会